

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

本単元におけるゴールとなる言語活動

「AETに自分たちのことを知ってもらうために、自分たちのプロフィール帳をAETと一緒に作ろう！」

指導計画 1 / 8時間 (pp.2-3, 8-11)

本時目標：(仮) 自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料：My name is～. I like ～. What sport do you like? など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、教師用絵カード、ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 20分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Hi, English!】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい教科書を開き、一年間の学習に意欲をもつ。 Check Your Steps①までの単元と中心となる活動を知り、見通しをもつ。 本単元で目指す姿、流れを知り、単元の見通しをもつ。 p.3の下部の空欄に記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> Check Your Steps①までの単元と中心となる活動を知り、見通しをもてるようにする。 本単元で目指す姿、流れを知り、単元の見通しをもてるようにする。 pp.2-3の写真の説明し、p.3の右下に英語を使って将来したいことを記入するよう伝える。その後、発表し合う。 	
	<p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学び方みつけた！①」を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学び方みつけた！①」で示されている場面から、4年までの学習について振り返りながら、慣れ親しんできた語彙や表現を確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 	
	<p>【Let's sing】 Nice to meet you.</p> <ul style="list-style-type: none"> Good (morning, afternoon, evening) を練習する。 曲を聞き、歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> PDのp.14 [1日の時間] (morning, afternoon, evening) を練習する。 一度曲を流し、内容について質問する 曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。 	指導者用デジタルブック

	<p>【Let's Chant】 What sport do you like? ・チャンツを聞き、歌えるところを歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し、内容について質問する。 ・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。 	指導者用デジタルブック
展開 22分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、 おおよその内容を理解しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Word Link】 PD の p.7 (スポーツ) ・スポーツの単語を復唱する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を使って、スポーツの単語を復唱しながら確認する。 	
	<p>【Let's try 1】 ポインティングゲーム ・言われた PD の単語に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。 ・スポーツのクイズの質問に答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 ・指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 ・スポーツに関するクイズをする。 (例) Tell me the sports that use a ball. 	PD 教師用絵カード
	<p>【Starting Out】 ・No.1～3 までの音声を聞いて、本体の A～E の□に順番に番号を記入する。 ・WS の 1 に音声を聞いてわかったこと、気付いたことを記入する。 ・聞き取れたこと、気付いたことなどを発表する。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・No.1～3 までの音声を聞いて、本体の A～E の□に順番に番号を記入するよう伝える。必要に応じて、複数回聞かせてもよい。 ・答え合わせをする。 ・WS を配り、音声を聞いてわかったこと、気付いたことを WS の 1 に記入するよう伝える。 ・聞き取れたこと、気付いたことなどを尋ねる。 ・I'm～.という表現も、名前を伝えることができることに気付くよう指導する。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞かせる。 <p>【評価】 ○<input type="checkbox"/>主 (自己紹介についてのやりとりを主体的に聞き取り、理解しようとしている)</p>	指導者用デジタルブック WS
	<p>【Let's Chant】 How do you spell your name? ・チャンツを聞き、歌えるところを歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度チャンツを流し、内容について質問する。 ・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。 	指導者用デジタルブック

	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として 考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習表現を使い，本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方に関する気付きや，言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きにフィードバックする。 ・挨拶をする。 	

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 2 / 8時間 (pp.10-12)

本時目標：(仮) 自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料：How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What sport do you like? など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、教師用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Let's sing】 Nice to meet you.</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き、歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が歌いづらい単語や表現を練習する。 児童と一緒に歌う。 歌えるところを歌うように励ます。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の服や持ち物の色の話題から、好きな色の話へ 休み時間に行った遊びの話から、好きなスポーツの話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 25分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>(仮) 自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	PD
	<p>【Word Link】 PD の p.6 (色, 食べ物)</p> <ul style="list-style-type: none"> 色や食べ物の単語を復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を使って、色や食べ物の単語を復唱しながら確認する。 	教師用絵カード
	<p>【Let's try 1】 ポインティングアクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 言われた PD の単語に触る。 指導者の指す絵カードの単語を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 	
	<p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> No.4~5 までの音声を聞いて、本体の 	<ul style="list-style-type: none"> No.4~5 までの音声を聞いて、本体の A~E の□に順番に番号を記入させ 	指導者用デジタルブック

	<p>A～Eの□に順番に番号を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れたこと、気付いたことなどを発表する。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞く。 	<p>る。必要に応じて、複数回聞かせてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせをする。 ・聞き取れたこと、気付いたことなどを尋ねる。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞かせる。 <p>【評価】</p> <p>○<input type="checkbox"/>主（自己紹介や学校生活についてのやりとりを主体的に聞き取り、理解しようとしている）</p>	
	<p>【Let's Watch and Think】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、わかったことを教科書に書き込む。 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前、出身地、好きなことなどのポイントを押さえて聞くように指示する。児童の理解に合わせて複数回聞かせてもよい。 ・分かったことを発表する際、アメリカやメキシコについて知っていることを尋ねる。 	
	<p>【Let's Listen ①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を流して、登場人物の好き嫌いを線で結ぶよう伝える。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 <p>【評価】</p> <p>○<input type="checkbox"/>知（自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる）</p>	
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで大文字の名前を復唱する。 ・巻末の文字カード（大文字）を切り離して机の上に並べるよう指示する。 ・指導者は文字の名前を言い、児童に名前を言うよう伝える。 	指導者用デジタルブック 巻末文字カード
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をふり返り、コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関すること気付いたこと等を 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気づきにフィードバック 	

	発表する。	する。 ・挨拶をする。	
--	-------	----------------	--

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 3 / 8時間 (pp.12-13)

本時目標：(仮) 好きなもの・ことなどについて尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：I like ～. I don't like～. What (color, sport, food) do you like? など

準備：指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー(PD), ワークシート(WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Let's sing】 Nice to meet you.</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き、歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が歌いづらい単語や表現を練習する。 児童と一緒に歌う。 歌えるところを歌うように励ます。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's Chant】</p> <p>How do you spell your name?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し、一緒に歌う。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日の給食メニューの話から、好きな食べ物の話へ 休み時間に行った遊びの話から、好きなスポーツの話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
展開 22分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(仮) 好きなもの・ことなどについて尋ね合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Let's try ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてと、学習の流れを知る。 デモンストレーションを見て、活動の流れとポイントを理解する。 活動のモデルとして、先生の好きなものを空欄に記入する。 ペアになって好きなものをたずね合い、空欄に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて、学習の流れを確認する。 AET (または、児童と) デモンストレーションを行う。 児童の実態に応じて、PD で色(p.6)やスポーツ(p.7), 食べ物(p.8)の単語を確認させてもよい。 活動のモデルとして、好きな色やスポ 	PD WS

	<ul style="list-style-type: none"> ・横のペア, 前後のペア, という順番で行う。 ・ペアを替えながら活動を行う。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, I'm Aoi.</p> <p>B: Hello. My name is Shoma.</p> <p>A: How do you spell your name?</p> <p>B: S-H-O-M-A. Shoma.</p> <p>How do you spell your name?</p> <p>A: A-O-I. Aoi.</p> <p>Shoma, What (color, sport, food) do you like?</p> <p>B: I like ~.</p> <p>A: Me, too. Good.</p> <p>B: Thank you. Aoi, what (color, sport, food) do you like?</p> <p>A: I like ~.</p> <p>B: Good. Nice to meet you.</p> <p>A: Nice to meet you, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横のペア, 前後のペア, という順番で行う。 ・ペアを替えながら活動を行う。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, I'm Aoi.</p> <p>B: Hello. My name is Shoma.</p> <p>A: How do you spell your name?</p> <p>B: S-H-O-M-A. Shoma.</p> <p>How do you spell your name?</p> <p>A: A-O-I. Aoi.</p> <p>Shoma, What (color, sport, food) do you like?</p> <p>B: I like ~.</p> <p>A: Me, too. Good.</p> <p>B: Thank you. Aoi, what (color, sport, food) do you like?</p> <p>A: I like ~.</p> <p>B: Good. Nice to meet you.</p> <p>A: Nice to meet you, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横のペア, 前後のペア, という順番で行う。 ・ペアを替えながら活動を行う。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, I'm Aoi.</p> <p>B: Hello. My name is Shoma.</p> <p>A: How do you spell your name?</p> <p>B: S-H-O-M-A. Shoma.</p> <p>How do you spell your name?</p> <p>A: A-O-I. Aoi.</p> <p>Shoma, What (color, sport, food) do you like?</p> <p>B: I like ~.</p> <p>A: Me, too. Good.</p> <p>B: Thank you. Aoi, what (color, sport, food) do you like?</p> <p>A: I like ~.</p> <p>B: Good. Nice to meet you.</p> <p>A: Nice to meet you, too.</p>
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点に沿って, 活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや, ふり返る際の視点を再確認する。 ・活動の前半をふり返し, めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ, ほめる。 	
	<p>【Let's try ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし, 活動を続けるよう指示する。 	
<p>文字指導 10分</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字の A~Z の名前を言いながら描く。 <p>【Let's Listen 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞こえた登場人物の名前のつづりを囲む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。 ・p.86~87 に大文字の A~Z を, 名前を言いながら書くよう指示する。 ・音声を聞かせて, 該当する文字 (つづり) を囲ませる。正しい文字群を見つけるように指導する。 	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し, コミュニケーションの図り方に関する気づきや, 言語に関する事で気付いたこと等を発表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し, 児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気づきにフィードバック 	

	る。	する。 ・挨拶をする。	
--	----	----------------	--

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.12-13)

本時目標 : (仮) I や自分の名前をローマ字で書くことができるようにする。

語順を意識して好きな色と食べ物を表現できるようにする。

主な言語材料 : How do you spell your name? I like ~. I don't like ~.

What (color, sport, food) do you like? など

準備 : 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), 教師用絵カード, ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日の給食メニューの話から、好きな食べ物の話へ 休み時間に行った遊びの話から、好きなスポーツの話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い、本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。 	
	<p>【Let's Chant】</p> <p>How do you spell your name?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し、一緒に歌う。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Sounds and Letters】 BINGO</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字の A~Z の名前を復唱する。 指導者が示す絵カードの名前を言う。 指導者が指定した 16 文字を p.92 の BINGO 表に書きこむ。 指導者が言う文字に○をして BINGO を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。 絵カードを見せ、児童に名前を言わせる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> △<input type="checkbox"/> (大文字を読むことができる) △<input type="checkbox"/> (大文字を書くことができる) 	教師用絵カード
展開 30分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(仮) I や自分の名前をローマ字で書くことができるようにする。 語順を意識して好きな色と食べ物を表現できるようにする。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてと、学習の流れを知る。 デモンストレーションを見て、活動の 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて、学習の流れを確認する。 AET (または、児童と) デモンストレ 	

	<p>流れとポイントを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんできた表現を用いて、自分の名前と、名前のつづりを伝える。 話し手は、自分の名前に関して正しいスペルを伝えるか、正しくないスペルを伝えるかは、児童に委ねる。） 聞き手は、話し手の名前と伝えられたスペルが正しいか確認しながら聞く。正しいスペルではないと思った場合は、正しいスペルを伝える。 やりとりが終わったら、相手のワークシートのサイン欄に自分の名前を大文字で書く。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, I'm Aoi. B: Hello. My name is Shoma. A: How do you spell your name? B: S-H-O-M-A. Shoma. A: Good name! How do you spell your name? A: A-O-E. Aoi. B: No! A-O-I. A: Yes! A-O-I. Thank you. Shoma, nice to meet you. B: Nice to meet you, too.</p>	<p>ーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hello. / Nice to meet you. / Nice to meet you, too.の表現を確認する。 児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 育成を目指す姿を意識してコミュニケーションを図ることができている児童を見取り、ほめる。 困り感のある児童に対し、個別に支援する。 <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/>思 (互いに名前のスペルを伝え合う活動を通じて、学習した表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (活動を通じて、自分の名前や名前のつづりについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてや、ふり返る際の視点を再確認する。 活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。 	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふり返りカードに記入する。 コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 児童が挙げた気づきにフィードバックする。 挨拶をする。 	<p>ふり返りカード</p>

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.14-15)

本時目標 : (仮) 自分の名前と好きなもの・ことを伝え合うことができるようにする。

主な言語材料 : How do you spell your name? I like ~. I don't like ~.

What (color, sport, food) do you like? など

準備 : 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), ワークシート (WS), 教師用絵カード, ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について尋ねたりする。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Let's sing】 Nice to meet you.</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲を聞き, 歌えるところを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。 歌えるところを歌うように励ます。 	
	<p>【Let's Chant】</p> <p>How do you spell your name?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き, 歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し, 一緒に歌う。 	
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日の給食メニューの話から, 好きな食べ物や, 苦手な食べ物の話へ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い, 本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら, 全体でやり取りしたり, 個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら, 個にも尋ねていくことで, 学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て, 全体でのやり取りと同じテーマに沿って, ペアでやり取りする。 	
展開 30分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>(仮) 自分の名前と好きなもの・ことを伝え合おう。</p> </div>		
	<p>【Step 3 をアレンジした活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてと, 学習の流れを知る。 デモンストレーションを見て, 活動の流れとポイントを理解する。 慣れ親しんできた語句や表現を用いて, 自分の名前, 好きな色・スポーツ・食べ物を伝える。 話し手は, たずねられたこと (好きな色・スポーツ・食べ物) について, 伝 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて, 学習の流れを確認する。 AET (または, 児童と) デモンストレーションを行う。 Hello. / Nice to meet you. / Nice to meet you, too. の表現を確認する。 児童の実態や状況に応じて, 好きな色・スポーツ・食べ物を伝える際, それらを表す語句については, ピクチャーディ

<p>える三つの情報のうちの一つを、好きではないものを伝える。(つまり、一つ嘘の情報を伝える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は、どの情報が好きではないものであるかを当てる。 <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hi, I'm Aoi. B: Hello. My name is Shoma. A: How do you spell your name? B: S-H-O-M-A. Shoma. How do you spell your name? A: A-O-I. Aoi. Nice to meet you. B: Nice to meet you, too. A: Shoma, what food (color, sport) do you like? B: I like hamburger, noodles and tomatoes. A: Tomatoes! (好きではないと予想したもの) B: Sorry. A: Hamburger! B: Yes. I don't like hamburger. A: Why? B: (Because,) I don't like pickles. Aoi, what sport (color, food) do you like? (同様に続けていく)</p>	<p>クシヨナリーpp.6～8を参照させてもよい。また、部分的に日本語を使用することも可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・育成を目指す姿を意識してコミュニケーションを図ることができている児童を見取り、ほめる。 ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/> 思 (相手の好きなものを予想しながら、好きではないものを当てる活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>○<input type="checkbox"/> 主 (活動を通じて、自分の名前、好きなものなどについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	
<p>【中間のふり返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点を再確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
<p>【Step 3をアレンジした活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返りを生かし、活動を続けるよう指示する。 	
<p>【Step 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺カードを切り取り、自分の名前を大文字で書く。 ・名刺カードの名前の下に、好きなものやことなどについて描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末コミュニケーションカード(名刺カード)を一枚切って用意させる。 ・自分の名前(名)を書くように指示する。分からない場合は、本体 p.85 を見るように指導する。 ・同じカードに自分の好きなものやことを描くように指示する。 	<p>巻末コミュニケーションカード</p>

<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方に関する気付きや，言語に関する事で気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が挙げた気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返りカード</p>
-------------------	--	---	----------------

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 6 / 8時間 (pp.14-15)

本時目標：(仮) 名刺交換をして、名前や好きなもの・ことなどを伝え合うことができるようにする。

主な言語材料：My name is～. I'm～. I like ～. What (color, sport, food) do you like? など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，巻末コミュニケーションカードとそのコピー (人数分)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Let's Chant】</p> <p>How do you spell your name?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き，歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し，一緒に歌う。 	指導者用デジタルブック
	<p>【Small Talk】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の名前と名前のつづり </div>	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使い，本単元の自己紹介につながる語彙や表現を入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。 	
展開 32分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(仮) 名刺交換をして，名前や好きなもの・ことなどを伝え合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてと、学習の流れを知る。 デモンストレーションを見て、活動の流れとポイントを理解する。 慣れ親しんできた語句や表現を用いて、自分の名前や名前のつづり、好きなものなどを伝える。 AET が名前のつづりを正しく把握できていない場合には、児童がスペルを伝え直したり、ALT に記入を求められた場合は、シートに記入したりする。 自己紹介後に、名刺カードを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて、学習の流れを確認する。 AET (または、児童と) デモンストレーションを行う。 児童の実態や状況に応じて、好きな色・スポーツ・食べ物を伝える際、それらを表す語句については、ピクチャーディクショナリー pp.6～8 を参照させてもよい。また、部分的に日本語を使用することも可とする。 児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目 	AET・IUI 用プロフィール帳

	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の前で、AET と一人ずつコミュを行う。 ・実態に応じて、AET とやりとりしない時間帯の児童は、相手を替えながら、同様のやりとりを児童同士で行う。 <p>[会話モデル例] A:AET C: 児童</p> <p>A: Hi.</p> <p>C: Hello. My name is Shoma.</p> <p>A: How do you spell your name?</p> <p>C: S-H-O-M-A. Shoma.</p> <p>A: Shoma. S-H-O-M-E?</p> <p>C: No. S-H-O-M-A. A!</p> <p>A: Thank you. Nice to meet you.</p> <p>C: Nice to meet you, too.</p> <p>A: Shoma, what food (color, sport) do you like?</p> <p>C: I like ramen.</p> <p>A: Me, too. I like miso ramen.</p> <p>C: Good. My card, here you are.</p> <p>A: Thank you. Nice to meet you.</p> <p>C: Nice to meet you, too.</p> <p>C: Bye!</p> <p>A: See you!</p> <p>(同様に続けていく)</p>	<p>指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。 ・AET は、子どもとのやり取りで分かったことを、「AET・IUI 用プロフィール帳」に記入していく。 ・状況に応じて AET は、意図的に聞き違えたり、児童に書き記すよう依頼したりすることで、書く必要性のある状況を演出してもらうよう依頼しておく。 <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/> 思 (自分のことについて紹介する活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>○<input type="checkbox"/> 主 (活動を通じて、自分の名前や名前のつづり、好きなものなどについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてや、ふり返る際の視点を再確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。 	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。 	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気付きや、言語に関することで気付いたこと等を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が挙げた気付きにフィードバックする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返りカード</p>

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 7 / 8時間 (pp.16-17)

本時目標：(仮) 世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：What is your name? I'm ~. My family name is ~. I'm from ~. I live in ~.

準備：指導者用デジタルブック, 教師用絵カード, ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。 	
	<p>【Let's Chant】</p> <p>How do you spell your name?</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを流し、一緒に歌う。 	指導者用デジタルブック
展開 37分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>(仮) 世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。 	
	<p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの国際理解教室で学習した国の文化等を発表する。 教科書内に出ているアメリカ、ベトナム、サウジアラビアという異なる名前の文化について意見を発表する。 クイズの答えを予想し、空欄に答えを記入する。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの国際理解教室で学習した国の文化等を尋ねる。 アメリカ、ベトナム、サウジアラビアの子どもたちの名前を通して、異なる文化について考えさせる。姓名の並び方、姓と名の間にある名前の持つ意味など、それぞれの名前の文化について説明する。 <p>【評価】</p> <p>○<input checked="" type="checkbox"/> 主 (主体的に世界の名前について知ろうとし、世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	
	<p>【Challenge】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者からの問いに My family name is ~. と自分の姓を答える。 自分の姓名をペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> I'm (名). My family name is (姓). と言い、自己紹介のモデルを見せる。 My family name is ~. で、姓を表すことができることに、スモールトークを通して気付かせる。 What is your family name? と児童にたずねる。 モデルに合わせて、ペアで活動するように指示する。 	

	<p>【ことば探検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の「I」にあたる、自分を表す日本語を空欄に記入し、発表する。 ・気付いたことを右のメモ欄に記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の「I」にあたる、自分を表す日本語を空欄に記入させる。記入したことを発表させる。 ・日本語と英語を比べてみてどんなことを感じたのか書くように指示する。 ・日本語の表現の豊かさなど、気付いたことを発表させる。 <p>【評価】</p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	
	<p>【日本のすてき】 Ross Findlay (ロス・フィンドレー) さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Findlay さんについての映像や音声を聞き、おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で活躍している外国人について学ぶことを伝える。 ・まず全体を一回流し、その映像や音声を通じて、Findlay さんがどんな仕事をしているか聞き、答えを空欄に日本語で記入するよう指示する。 ・ Findlay さんの仕事が adventure guide であることを確認する。 ・もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう伝える。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していない様なら、複数回聞かせる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 出身地 (オーストラリア) 2) 今住んでいるところ (北海道・ニセコ) 3) 夏の好きなスポーツ (ラフティング・マウンテンバイキング) 4) 冬の好きなスポーツ (スキー) <p>【評価】</p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しカードに記入する。 ・名前の文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時をふり返し、児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きにフィードバックする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返しカード</p>

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 追加1時間 (pp.16-17)

本時目標：(仮) Over the Horizon の学習で得られた疑問や関心ごとについて調べることを通して、日本と実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。

準備物：世界地図、諸外国の文化・風習等が記されている図書・資料、PC もしくはタブレット、写真など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
横浜の 時間 45分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> (仮) 世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深めよう。 </div>		世界地図、 諸外国の 文化・風習等 が記されてい る図書・ 資料、 PC、 もしくは タブレット、 写真など
	<p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p> <p>【調べ学習の対象を選択する】</p> <p>・調べ学習の対象を選択する</p> <p>①自分の苗字の由来について調べる。</p> <p>②Over the Horizon を通して、知りたくなった他国の名前の文化、その他の文化や関心事について調べる</p> <p>【各自が調べたことを発表する】</p> <p>・自分の姓の由来を発表する。</p> <p>・他国の文化等について、調べたことを伝える。</p> <p>・発表を聞きながら、他国の文化等について日本との比較を通して、世界と日本についての理解を深める。</p> <p>・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。</p>	<p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</p> <p>・名前に関する他国の文化の学習を通して、自分の名前に立ち返ることで、アイデンティティの育成・高まりにつなげる。</p> <p>・名前以外の観点で、興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。</p> <p>・図書室や PC ルーム等、調べ学習に適した学習環境を整える。</p> <p>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</p> <p>【評価】</p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に取り組んでいる)</p> <p>・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。</p>	

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

指導計画 8 / 8時間 (pp.16-17)

本時目標: (仮) 国際理解教室を担当する外国人非常勤講師 (International Understanding Instructor 以下、IUI) による、自国の文化や名前に関する事等について聞いたり質問したりしながら日本との比較を通して、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料: This is ~. I like ~. Do you know~? など

準備物: 世界地図, PC, 写真

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 15分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
	・ IUI の自己紹介を聞く	・必要に応じて、自己紹介を行う IUI のサポートをする。	
	・ IUI の国の言葉やジェスチャーを用いて、IUI や児童同士で挨拶を行う。	・児童と一緒に、IUI の国の言葉やジェスチャーを用いて、IUI と挨拶を行う。	
	・ IUI の母国の地理に関する情報を聞く。 (国旗, 世界地図内の位置, 面積, 人口, 時差, 季節等) ・ IUI が示す情報を、日本と比較しながら、共通点や相違点を見出す。	・必要に応じて、IUI のサポートをする。 ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。	世界地図 PC 写真
展開 25分	【めあての確認】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (仮) IUI による、自国の文化や名前に関する事等について聞いたり尋ねたりしながら、日本との比較を通して、世界と日本についての理解を深めよう。 </div>		
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Do you know; IUI】 ・ IUI の母国の文化や風習に関する情報を聞く。 ・名前に関する文化, 有名な物や風習等について日本と比較しながら、共通点や相違点を見出す。	・ IUI が示す情報や学習のテーマを Over the Horizon と関連付くようにする。	世界地図 PC 写真
【Q&A】 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。	・必要に応じて、児童と IUI の意思疎通をサポートする。 【評価】 ○主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に聞いたり、質問したりしている)		

<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。 	<p>ふり返りカード</p>